



第78回 日本臨床眼科学会 市民公開講座

家族全員 の眼の寿命のハナシ

人生100年時代、眼の生涯健康年表



私たちは、いつ、どんな病気になるの？

眼はあなたの人生を一生見続ける大切なものです。
でも多くの人々が、その大切さを分かっていないようです。
まだ若いから大丈夫。そんなことはありません。

一生で眼の病気にかからない人は、ほとんどいないのです。
今日は家族や身近な人の眼の健康についてかんがえましょう。

2024年11月17日(日)
14:00~15:30

国立京都国際会館
アネックスホール2

参加無料

どなたでも
ご参加いただけます。

国立京都国際会館 MAP



直接会場にお越しください。

会場アクセス 京都府京都市左京区岩倉大鷲町 422

- 地下鉄烏丸線「国際会館駅」出入口4-2 徒歩5分
- 京都市バス・京都バス「国際会館駅前」から徒歩5分
- お車でのお越しの方：有料駐車場をご利用ください。

(料金：1日1回 ¥1,000-)

●お問い合わせ

株式会社 JTB コミュニケーションデザイン
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町 2-1-25 JTB ビル 8F
Tel:06-4964-8869 Fax:06-4964-8804 E-mail:78ringan@jtbcom.co.jp

自分の眼と上手に付き合いながら、 いつまでも人生を楽しむためのメッセージ。

出演者

Coodinator



外園千恵
京都府立医科大学 教授

自分の眼に もっと関心を持ちましょう！

眼球は精巧にできた臓器として外界の情報を脳に送っています。眼に関心を持ち、眼の病気を理解することが「見えること」の維持に繋がります。

医学博士 / 眼科専門医
専門：角膜、小児眼科、難病
医師歴 38 年

Eye life Manager



後藤典生
高台寺 常任教師

人の役に立つ。 それは自身を救うこと。

体は減びても人は死ぬことはありません。体の一部を他の人の人生に役立てる事は、本来の自分の命を豊かにする事、それを知ってほしいのです。

僧侶 / 高台寺長老
国交省「VISIT JAPAN 大使」、アイバンク愛の光基金管理会 前理事長、永興富士見こども園園長 ほか

Eye life Doctor



上野盛夫
京都府立医科大学 准教授

心得ておきたい緑内障

緑内障は視神経が傷み視野が狭くなります。有病率は5%で身近な病気ですが自覚症状が乏しく気づかずに進行することがあります。緑内障の理解を深めましょう。

医学博士 / 眼科専門医
専門：緑内障、再生医療
医師歴 28 年



稗田牧
京都府立医科大学 講師

近視で失明しないように

近視はありふれた病気ですが、実は人生の終盤に失明する原因となることがあります。そこで、今からできる対策をお伝えします。

医学博士 / 眼科専門医
専門：近視
医師歴 31 年



渡辺彰英
京都府立医科大学 講師

まぶたの不都合、 放置していませんか？

加齢により瞼が下がる、逆まつげなどの不都合が生じることがあります。どんな場合に治療した方が良いかを知っておきましょう。

医学博士 / 眼科専門医
専門：眼瞼・眼窩・涙道疾患
医師歴 26 年



福岡秀記
京都府立医科大学 学内講師

眼の健康とコンタクトレンズ

正しいケアで目を守る、定期検査と管理が角結膜炎の予防になります。アレルギーや重症な角結膜感染症を引き起こし、入院治療や治らない視力低下を引き起こすことがあります。

医学博士 / 眼科専門医
専門：角膜、結膜、アイフレイル
医師歴 22 年



田中寛
京都府立医科大学 助教

網膜の病気は早期発見がカギ！

網膜はカメラで例えるとフィルムにあたる重要な部分です。非常に繊細な組織なので、網膜の病気になって視力が低下すると改善が困難です。早期発見と早期治療がとても大切であり、定期的な検診で「見えること」の維持に努めましょう！

医学博士 / 眼科専門医
専門：網膜・硝子体
医師歴 17 年



沼幸作
京都府立医科大学 助教

白内障手術で 眼が若返るって本当？

白内障はカメラのレンズにあたる水晶体が加齢で濁り、様々な症状を自覚し、最近は認知症発症のリスクとも言われます。適切なタイミングで治療を受け、眼を若返らせて健康寿命を伸ばしましょう。

医学博士 / 眼科専門医
専門：白内障・網膜硝子体
医師歴 12 年